

Cisco Business 250または350スイッチのパスワード強度と複雑度の設定

目的

スイッチのWebベースのユーティリティに初めてログインするときは、次のようなデフォルトのユーザ名とパスワードを使用する必要があります。cisco/cisco。その後、シスコアカウントの新しいパスワードを入力して設定する必要があります。パスワードの複雑度はデフォルトで有効になっています。選択したパスワードが十分に複雑でない場合は、別のパスワードを作成するように求められます。

パスワードはデバイスにアクセスするユーザの認証に使用されるため、単純なパスワードはセキュリティ上の危険性があります。したがって、パスワードの複雑さの要件はデフォルトで適用され、必要に応じて設定できます。

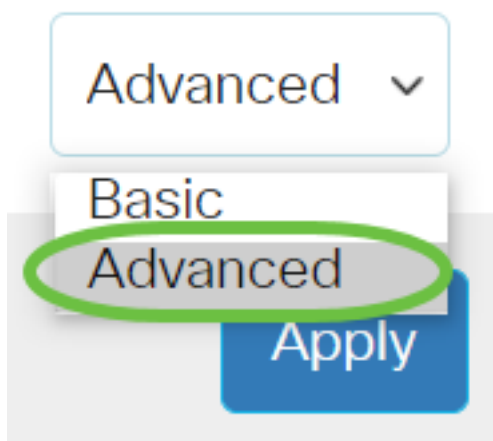
この記事では、Cisco Businessスイッチのユーザアカウントにパスワードの複雑さのルールを定義する方法について説明します。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

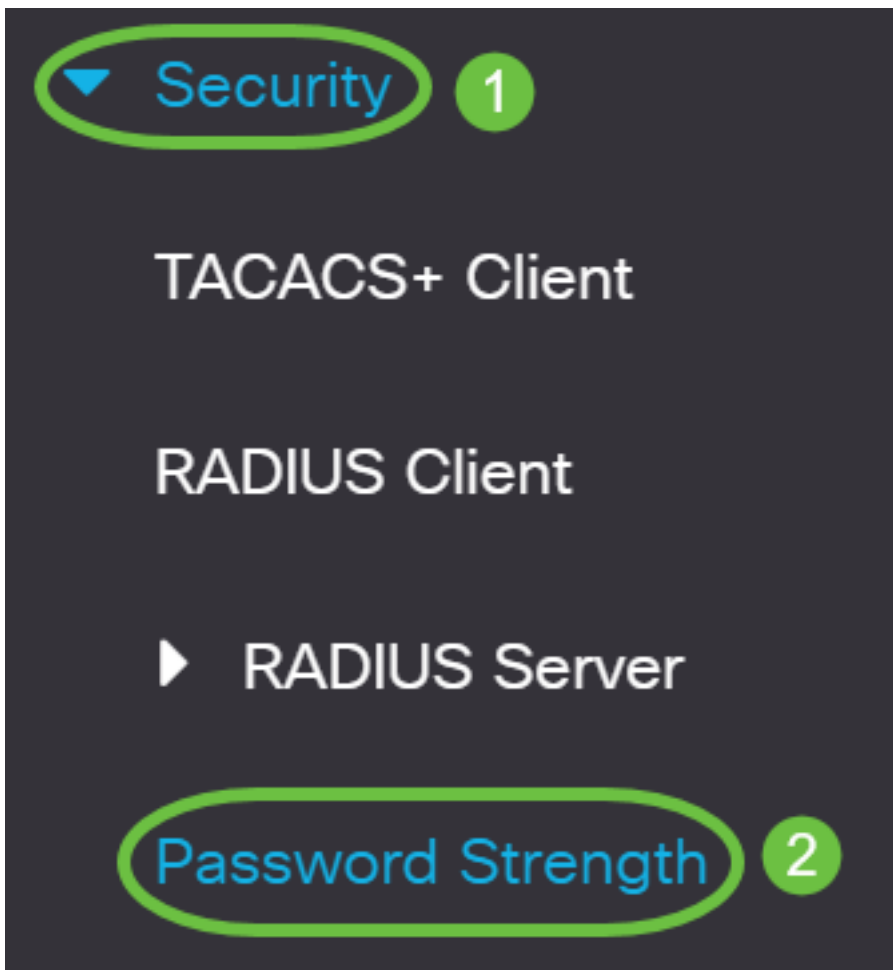
- CBS250 ([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350 ([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-2X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))
- CBS350-4X([データシート](#)) | 3.0.0.69 ([最新版をダウンロード](#))

スイッチのパスワード強度と複雑度の設定

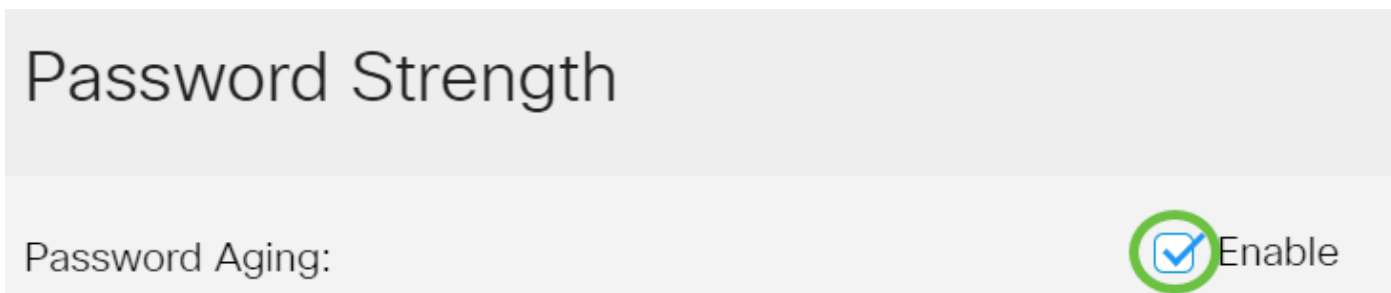
ステップ1: スwitchのWebベースのユーティリティにログインし、[Display Mode]ドロップダウンリストで[Advanced]を選択します。



ステップ2:[\[セキュリティ\]](#) > [\[パスワードの強度\]](#)を選択します。

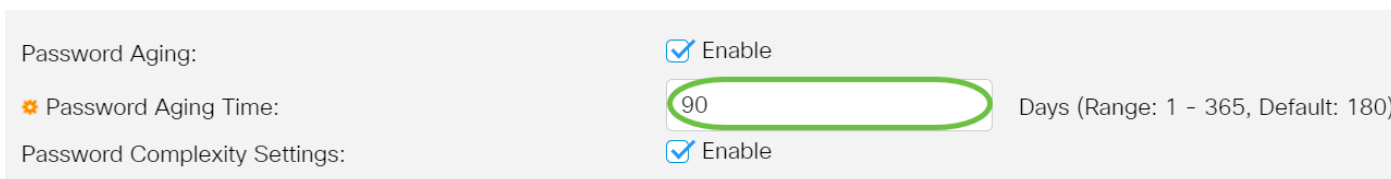


ステップ3: (オプション) パスワードエージング機能を無効にする場合は、[パスワードエージングチェックを有効にする]チェックボックスをオフにします。このオプションを有効にすると、指定したパスワードエージングタイムが期限切れになったときにパスワードの変更を求めるメッセージが表示されます。この機能はデフォルトで有効になっています。



ステップ4 : ユーザがパスワードの変更を求められるまでの日数を入力します。デフォルト値は180で、範囲は1 ~ 356日です。この例では、90 が使用されます。

注 : ステップ3でこの機能を無効にした場合は、ステップ5に[進みます](#)。



注 : パスワードのエージングは、長さがゼロまたはパスワードなしにも適用されます。

[ステップ5:\(オプション\)](#)パスワードの複雑さルールを有効にするには、[パスワードの複雑さ設定]チェックボックスをオンにします。この機能を有効にした場合、新しいパスワードは次のデフォルト設定に従う必要があります。

- 8文字以上であること。

- 少なくとも3つの文字クラス (大文字、小文字、数字、および標準キーボードで使用可能な特殊文字) の文字が含まれます。
- 現在のパスワードとは異なります。
- 3回以上連続して繰り返される文字を含まない。
- ユーザ名または文字の大文字と小文字を変更して到達したバリエーションを繰り返したり反転したりしないでください。
- メーカー名または文字の大文字と小文字を変更して到達したバリエーションを繰り返したり反転したりしないでください。

Password Aging: Enable

✦ Password Aging Time: Days (Range: 1 - 365, Default: 180)

Password Complexity Settings: Enable

注：パスワードの複雑さの設定を有効にしない場合は、ステップ10に進みます。

ステップ6: (オプション) [パスワードの最小長(Minimal Password Length)]フィールドに、パスワードに必要な最小文字数を入力します。デフォルト値は8で、範囲は0 ~ 64文字です。

注：パスワードの長さがゼロまたはパスワードが許可されておらず、パスワードエイジングを割り当てることができます。

✦ Minimal Password Length: (Range: 0 - 64, Default: 8)

注：この例では、12 が使用されます。

ステップ7:[Allowed Character Repetition]フィールドに、文字を繰り返し可能な回数を入力します。デフォルト値は3で、範囲は0 ~ 16インスタンスです。

✦ Allowed Character Repetition: (Range: 0 - 16, Default: 3)

注：この例では、2 が使用されます。

ステップ8：パスワードに含める必要がある文字クラスの数を入力します。最大4つの異なる文字クラスをパスワードに適用できます。デフォルト値は3で、範囲は0 ~ 4文字のクラスです。

クラスは次のとおりです。

- 1 – 小文字
- 2 – 大文字
- 3 – 数字
- 4 – 記号または特殊文字

✦ Minimal Number of Character Classes: (Range: 0 - 4, Default: 3)

注：この例では、4 が使用されます。

ステップ9: (オプション) パスワード変更時に一意のパスワードを要求するには、[Enable The New Password Must Be Different the Current One]チェックボックスをオンにします。

The New Password Must Be Different Than the Current One: Enable

ステップ10:[Apply]をクリックします。

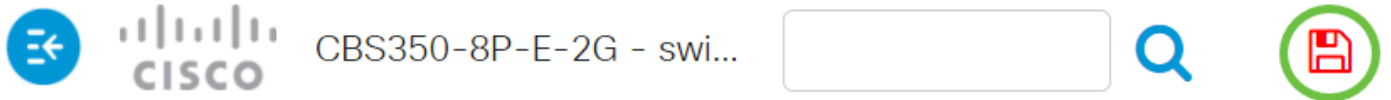
Password Strength

Password Aging: Enable

• Password Aging Time: Days (Range: 1 - 365, Default: 180)

Password Complexity Settings: Enable

ステップ11: (オプション) [Save]をクリックし、スタートアップコンフィギュレーションファイルに設定を保存します。



これで、Cisco Business 250または350シリーズスイッチのパスワード強度と複雑度の設定が正常に完了しました。

CBS250またはCBS350スイッチに関する詳細な記事をお探しですか。詳細については、次のリンクを参照してください。

[SNMPの設定](#) [SNMPビュー](#) [SNMPグループ](#) [DHCPイメージのアップグレード](#) [TCPとUDPの設定](#) [ポートセキュリティ](#) [時間設定](#) [Upgrade Firmware](#) [Smartportのベストプラクティス](#) [トラブルシューティングno ip address](#) [Smartportsのトラブルシューティング](#) [リンクフラッピングのトラブルシューティング](#) [VLANの作成](#)